

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本文学 (Japanese Literature) 2013011-031					担当教員	丸山 義昭 (マルヤマ ヨシアキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型AL								

① 授業のねらい・概要									
日本の近・現代文学の中から、主に著名な作家の優れた小説を読んでいく。詩や短歌にも触れる。夏目漱石、芥川龍之介、宮沢賢治、太宰治、井伏鱒二、三島由紀夫、安部公房、村上春樹、川上弘美といった作家の小説、金子光晴の詩、石川啄木の短歌を読む。文学作品を、設けた問いに沿って読み、意見の相互交流をはかりながら、深層批評の段階まで掘り下げていく。作品を読み味わいながら、自分が既に持っていた認識や価値観が揺さぶられるような文学体験ができればよい。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
授業で取り上げる予定の小説をあらかじめ読み、複数の問いを考えてくること。(1時間以上) 授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。(30分以上)									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
文学作品を深層まで読み味わうことを目的とする。したがって、 (i) 小説のプロットを理解しながら、読み深めるためにいくつかの問いを立てることができる。 (ii) 小説の語り方や個々の表現に着目しながら、問いに対して自分の意見が持てるようになる。 (iii) 授業後の二次感想を表現することができる。 を到達目標とする。									
⑥ テキスト (教科書)									
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』(新潮文庫) その都度授業で本文プリントとレジュメを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
随時、授業で知らせる。									
⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%		25%			5%		100%
(i) 概略把握	25%		10%			5%		40%
(ii) 正確な理解	25%		10%					35%
(iii) 表現力	20%		5%					25%
フィードバックの方法								

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
知識定着・確認型ALを採用し、双方向でのコミュニケーションを意識した授業を目指していく。 小説はあらかじめ読んできて、読み深めるための問いをいくつか考えてくること。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	小説の読み方について 宮澤賢治『なめとこ山の熊』（前半）	国語辞書、筆記用具	高校で習った小説をざっとでよいので再読してくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
2	宮澤賢治『なめとこ山の熊』（後半）	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
3	宮澤賢治『土神と狐』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
4	井伏鱒二『山椒魚』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
5	夏目漱石『夢十夜』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分	90分

			かるようにノートを整理しておくこと。	
6	安部公房『公然の秘密』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
7	太宰治『葉桜と魔笛』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
8	村上春樹『象の消滅』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
9	芥川龍之介『鼻』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
10	芥川龍之介『白』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
11	芥川龍之介『トロッコ』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
12	三島由紀夫『美神』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分

13	川上弘美『離さない』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
14	詩の読み方について 金子光晴『落下傘』『くらげの唄』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
15	短歌の読み方について 石川啄木『一握の砂』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型ALを採用する。各回終了後に、質問や意見を書いてもらい、次回の授業に組み込んで回答する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性